

さくらジャンプ



さくら学級だより No.3

2025 年(令和7年) 6月3日(火)

桜丘大運動会 あいがとうございました

心配された雨も上がり、桜丘大運動会を無事開催することができました。練習を積み重ねた表現運動をたくさんの方々に見ていただき、子ども達も大きな達成感を味わうことができました。

競技の練習では、相手の気持ちを大切にするために「相手を見ながら話を聞く」ことや後ろの人を思いやって「座って応援する」ことを意識しました。昨年度よりも、さらに成長した姿を見ることができました。ローズマインド(思いやり・優しさ、助け合い)を今後の学習へ生かしていきます。



運動会の姿が変わってきています。背景にあるもの、変わらないものとは

日本の学校では、運動会などの一連の行事を通じて「思いやり」など様々な力が形成されているのです。それぞれ得意不得意がありますから、異なる行事が組み合わされていることもバランスがいいと思います。(映画監督 山崎エマ)

批判の強かった組体操に代わり、最近はダンスなどの演目が増えています。そろえているつもりでも、うまい、下手があって、全然そろっていない。人間らしく、成長も感じられて、とても良いですね。(東京学芸大学教授 鈴木明哲)

効率だけを考えるなら、先生が全部やればいい。でも特別活動は、子どもたちが自己を生かす能力を養う場です。たとえばプログラムづくりなど、任せられることを見だし、子ども自身が挑戦し、集団としても個人としても成長できるようにする。特別活動は、いわば、よりよい自分、よい社会をつくる練習なのです。(国学院大学教授 杉田洋) 5月17日朝日新聞より

ぐんぐん成長 暑い夏

さくら学級園の夏野菜が、もりもり大きくなっています。これから、暑く、湿度が高い日が続く、人間にとっては辛い時期ですが、植物にとっては、成長期です。

今年度は、水泳授業が8月下旬になり、6・7月は水泳授業はありませんが、熱中症に気をつけながら、子ども達がぐんぐん成長できるよう、日々の授業をがんばっていきます。

